

山形県の古木・名木 No.21

妹背の松 (いもせのまつ)

南陽市宮内字高日向壺4069

南陽市宮内にある「妹背の松」は、赤松が二本立ちで、地上約4mの所で斜め横に連結している。いわゆる連理という珍しいものである。根元は一樹のように結合し、東側のものが目通り1.75mで主幹が直立して約15m、西側のものが目通り2.1m、高さは9.5mのあたりで西方に垂下し、枝張りは10m西方に及んでいる。全景が夫婦相生の形に見立てられるところから「妹背の松」の称がある。

昭和31年11月山形県天然記念物に指定。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



県指定天然記念物

いもせ 妹背の松

所在 南陽市宮内区高日向壺
指定 昭和31年11月24日

この「妹背の松」は、赤松が二本立ち、地上約4メートルのところで斜め横に連結している、いわゆる連理という珍しいものである。根元は一樹のように結合し目通りは東側のものが1.75メートル、西側のものが2.1メートルである。連理部の上方は東側のものは主幹が直立して約15メートルの高さに達するが、西側のものは高さ9.5メートルのあたりで西方に垂下し枝張りは10メートル西方に及んでいる。全景が夫婦相生の形に見立てられるところから妹背の松の称がある。

平成3年11月

山形県教育委員会
南陽市教育委員会

【森林やまがた45号(2000年12月)記載】